

施設長 高橋

新型コロナウイルスがなかなか治まらず不安な状況が続いています。しかし、つばめ創社は毎日、20名以上の利用者が通所しています。このような時だからこそ、ここに来て皆と会うことで安心してもらえればと考えています。もちろん、アルコール消毒など、できる限りの対策は行っています。

さて、「つばめ創社」の“燕”、意味をあらためて伝えたいと思います。想像してください。5月の青い空を“すいすい”と飛ぶ姿を。正にこの姿のように頑張りたいということです。

しかし、実は、それだけではありません。“燕”が生存していくには、人間の助けを必要としています。燕の巣作りは、建物の軒先です。人間の近くに作り、人間に助けをもらう（居てもらう）ことで、外敵の蛇やカラスから逃れています。置き換えてみると、私たちにはハンディがあります。生活において出来ることもあれば、出来ないことがあります。よって、皆様からの支援（助け）が有ってこそ、頑張れるものと考えています。燕はまた、虫を捕食することで、人間の生活に役立っています。「つばめ創社」も頑張っていることで、より豊かな社会の象徴であることの証に貢献したいと思います。このような意味合いを願い“燕”を使用しています。



## ～消火・避難訓練の実施～

つばめ創社では、火災が起きた時、安全なところへ逃げる訓練と、南消防署から水消火器を借りて、初期の火災を消す訓練を毎年2月に行っています。消火訓練は、いざという時の心構えを体験するように、消火器の使い方を確認しています。

避難訓練は、毎年11月にも、地震・津波を想定し、浅間小学校へ避難する訓練を実施しています。



# 地域の皆さまへ



「就労継続支援B型事業所 つばめ創社」でサービス管理責任者をしている岩本重幸です。今回のつばめ便りでは、就労継続支援B型事業所とはどのような所か、またつばめ創社ではどんな仕事をしているのかを地域の皆様にも知ってもらえるように簡単に説明したいと思います。

就労継続支援B型事業所とは、障害や重病を持つ人のうち、体力や年齢などの理由により一般企業などで働くことが困難な人に、体調や体力に合わせて「働くための場所を提供する」障害者総合支援法に基づいた福祉サービスです。現在、浜松市には約50か所の就労継続支援B型事業所があります。また、働くための場所の提供だけでなく、生活支援や就職支援、レクリエーションなど事業所によってさまざまな取り組みがされています。

私たちつばめ創社では、現在34名の障害(主に精神障害)を持った方が働きに来ています。仕事の内容は、ダンボールのバリ取りや組み立て、自動車部品の組み立て、キーホルダーの袋入れ、ゴムのバリ取り等です。自主製品としては、エコバックやマスク等の縫製品を製作・販売しています。製作した縫製品は事業所だけでなく市役所1階「チャレンジショップわ」でも販売をしています。また、仕事だけでなく日常の生活支援や就職支援、レクリエーションなども行っています。花見や旅行などの行事も本来なら行うのですが、現在はコロナ禍ということで行えません。代わりに事業所内で食事会などを行っています。

つばめ創社に働きに来ている方は、皆さん毎日頑張ってくれています。また、職員も利用者の支援のために日々努力していますので、今後もつばめ創社をよろしくお願いいたします。

つばめ創社ってどんな所なの？



「B型」サービスとは何？

## 4月14日(水) お食事会と春のウォーキング 残念。。。 `` コロナで今年も縮小 お花見 ``

朝は雨がパラついていましたが、作業している間にだんだんと晴れてきて皆さんの願いが叶い、散策日和になりました。

昼食は、つばめ創社内にとんかつ弁当、寿司弁当のご馳走を食べ、お花見団子としてお饅頭も食べました。

13時に、ウォーキング班と自転車班に分かれて出発し、浜松城公園を思い思い散策しました。すでにさくらは、散っていましたが、久しぶりに皆さんと体を動かすことが出来き春の日差しを感じる事が出来ました。気持ちの良いひとときでした。(職員記)



NPO法人明生会 就労継続支援B型 つばめ創社  
浜松市中区西浅田1-9-9 ☎053-442-6477  
E-mail: hamatubame-syotyo@hamamatu-meiseikai.com